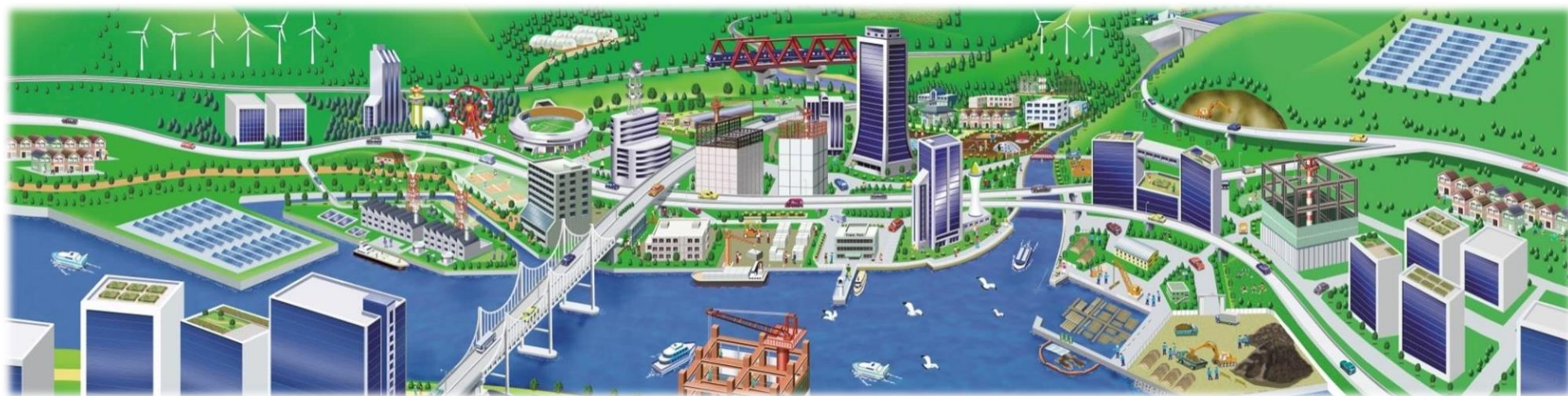


コンドールテック株式会社

決算説明資料

2019年3月期 第1四半期

2018年8月7日



見通しに関する注記事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。

それらにつきましては各資料作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。

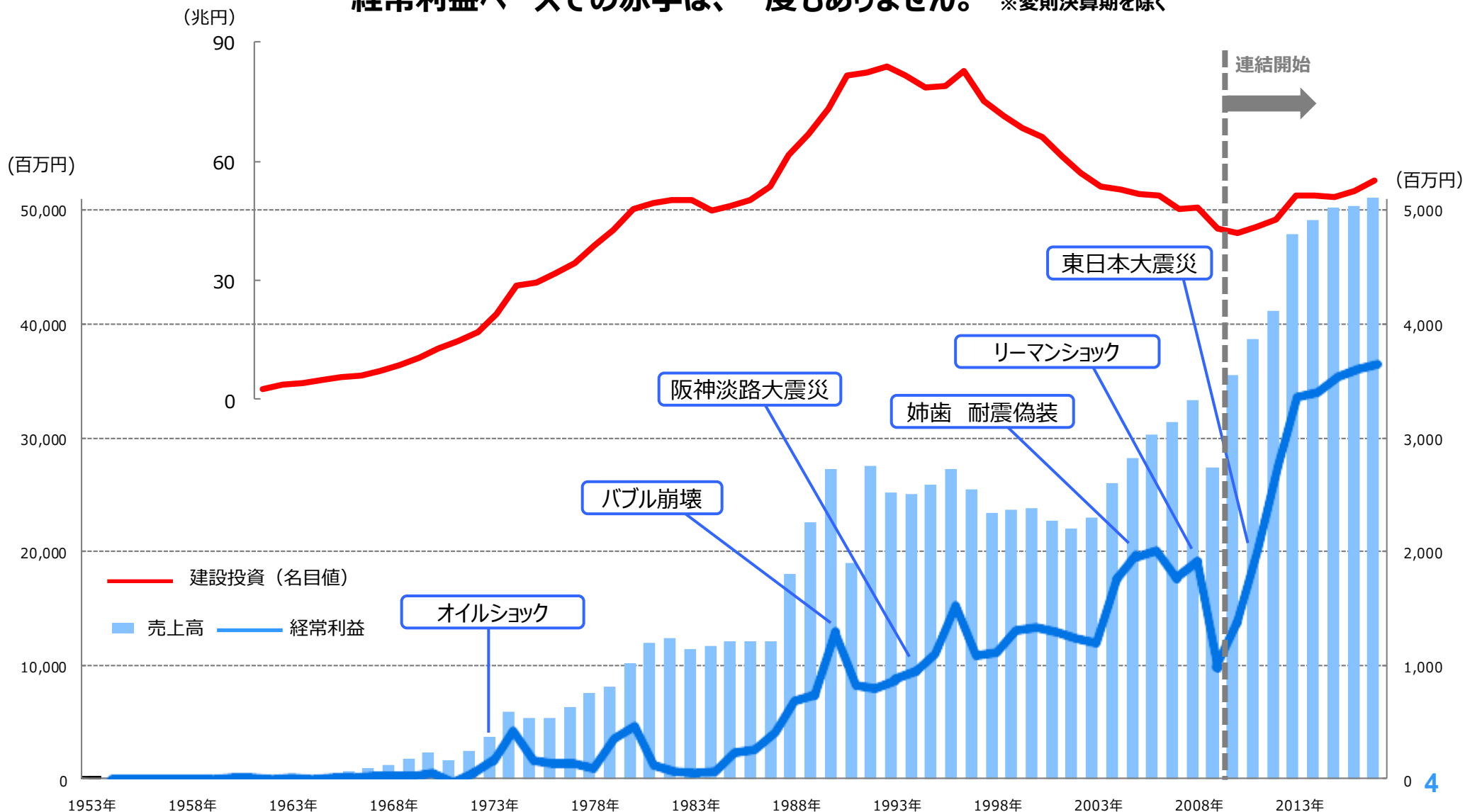
したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

1. 当社の概要	P. 4
2. 主要製・商品	P. 12
3. 2019年3月期第1四半期の実績と分析	P. 17
4. 2019年3月期第1四半期の各セグメントの実績と分析	P. 22
5. 成長戦略	P. 30
6. 株主還元	P. 38
7. 業績ハイライト	P. 41

1. 当社の概要

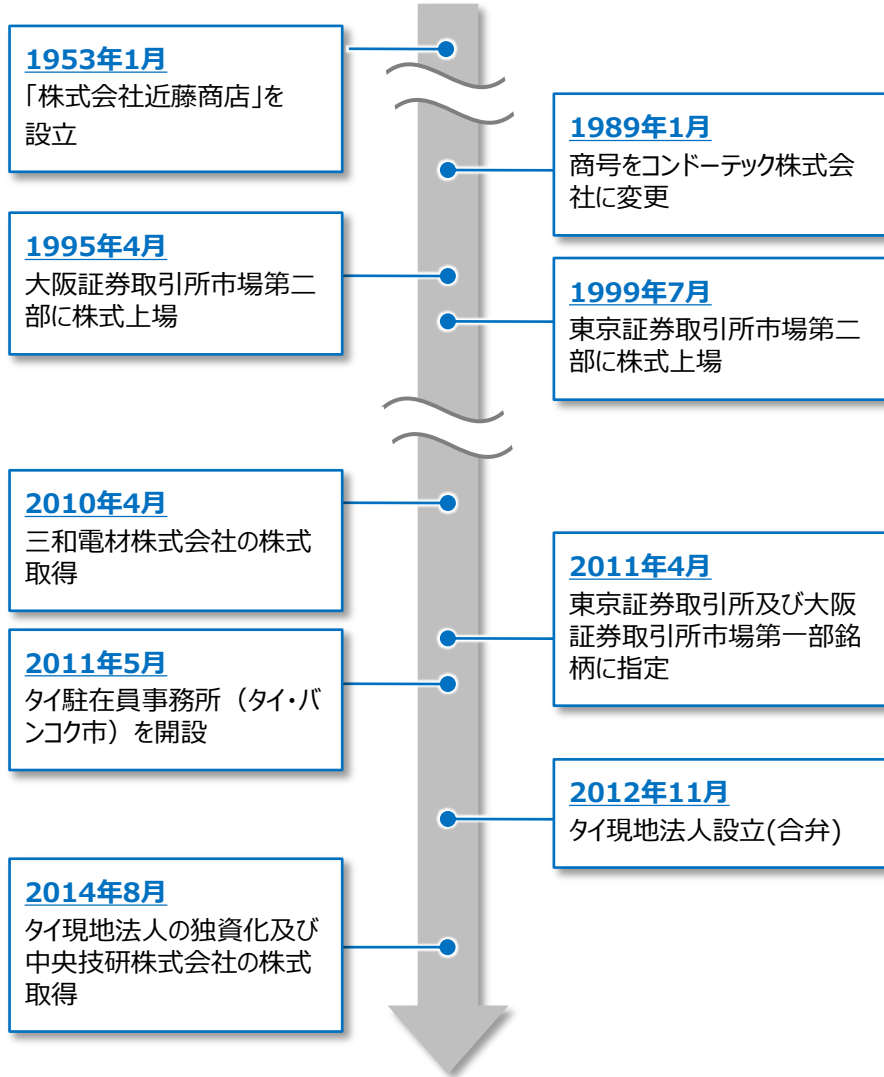
過去の業績推移

1953年設立以来、時代の変化・ニーズに合わせ、様々な業界に製商品を提供し続けた結果、
経常利益ベースでの赤字は、一度もありません。 ※変則決算期を除く

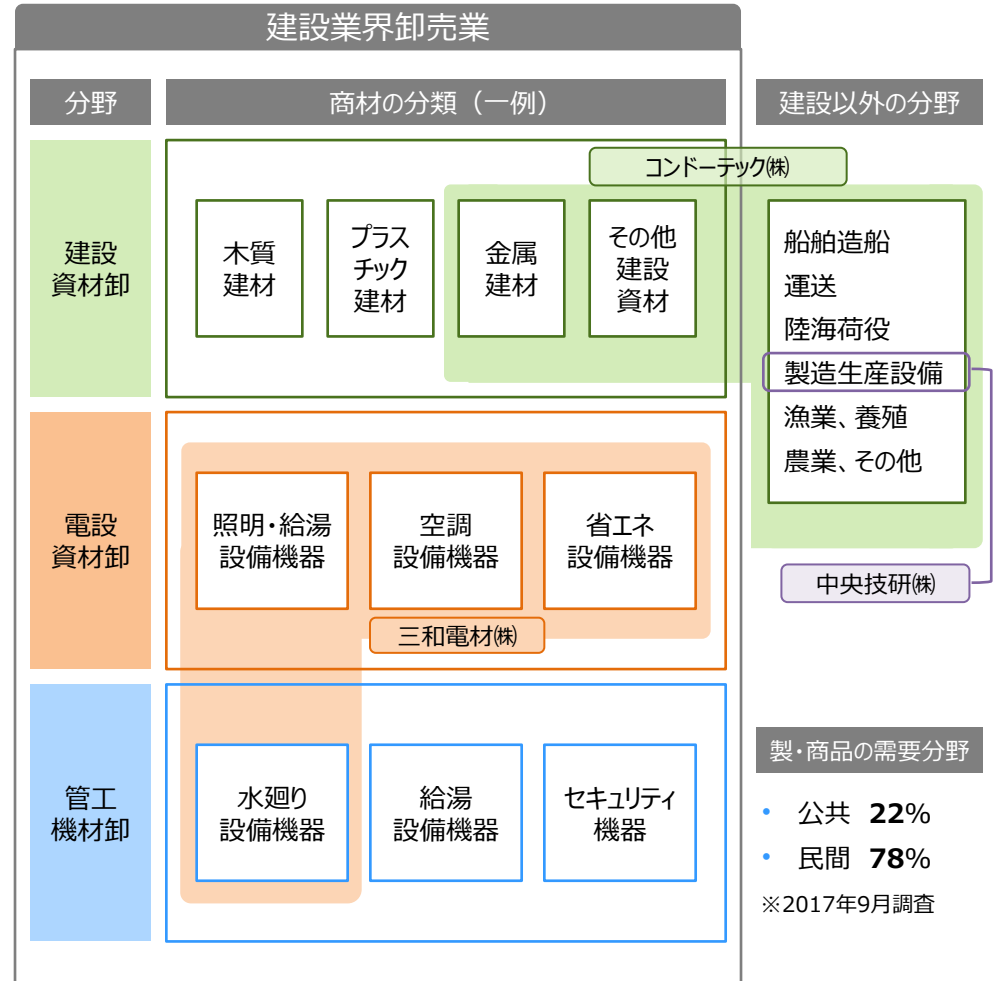


商号	コンドーテック株式会社 (KONDOTEC INC.)
グループ会社	三和電材株式会社、KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.、中央技研株式会社
設立	1953年1月
代表取締役社長	近藤 勝彦
本社	本社：大阪市西区境川二丁目2番90号
	東京本社：東京都江東区南砂一丁目9番3号
従業員	645名（単体）、789名（連結）（2018年3月末現在）
資本金	26億6,648万5千円
上場区分	東証1部
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金物小売業を中心に、産業資材を製造・仕入・販売 ■ 鉄骨加工業者向けに、鉄構資材を製造・仕入・販売 ■ 電気工事業者や家電小売店向けに、電設資材を仕入・販売
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製品 ターンバックル、ブレース、足場吊りチェーン、ねじ製品、アンカーボルト、建設資材、機械装置他 ■ 商品 金物類、チェーン、ワイヤロープ、鋸螺、建設資材、照明器具、分電盤、空調機器、エコ商品他

会社設立沿革

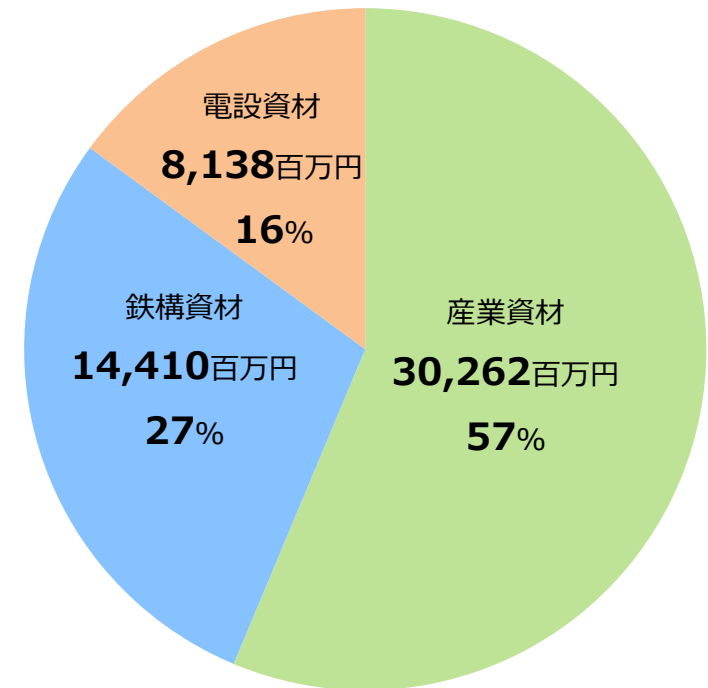


事業ドメイン



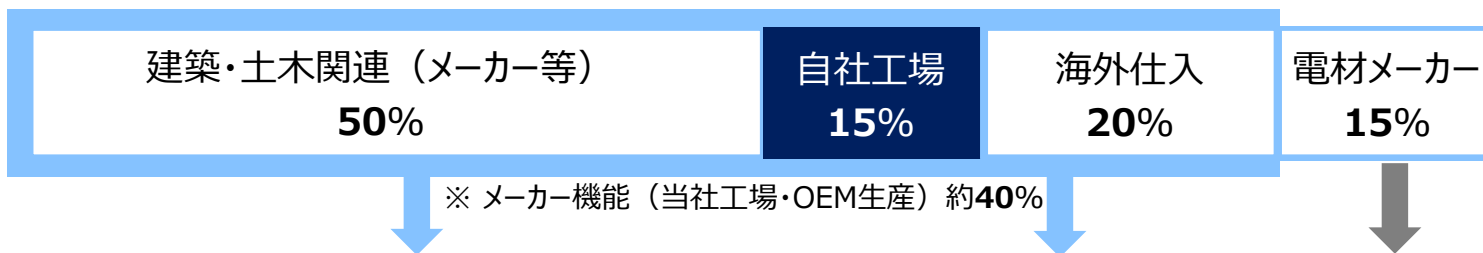
セグメント区分	主な販売先	主な製商品
産業資材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 金物屋 ■ 問屋 ■ ホームセンター等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ターンバックル ■ シャックル ■ 足場吊りチェーン ■ フック、クリップ ■ 各種鉚螺（ねじ、釘） ■ コンテナバッグ ■ ブルーシート ■ 機械装置 他
鉄構資材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄骨加工業者 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ターンバックルブレース ■ アンカーボルト ■ ハイテンションボルト ■ 自立コンピース ■ コンデッキバー ■ セラミックスタブ 他
電設資材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気工事業者 ■ 家電小売店 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空調機器（エアコン、換気扇、ダクトファン） ■ 照明器具（LED照明、住宅照明器具他） ■ エコ商品（太陽光発電、エコキュート） ■ 電線、分電盤、制御盤、各種センサー他

セグメント別売上高（2018年3月期）



単体の売上高は、全体の **84** %を占めております。

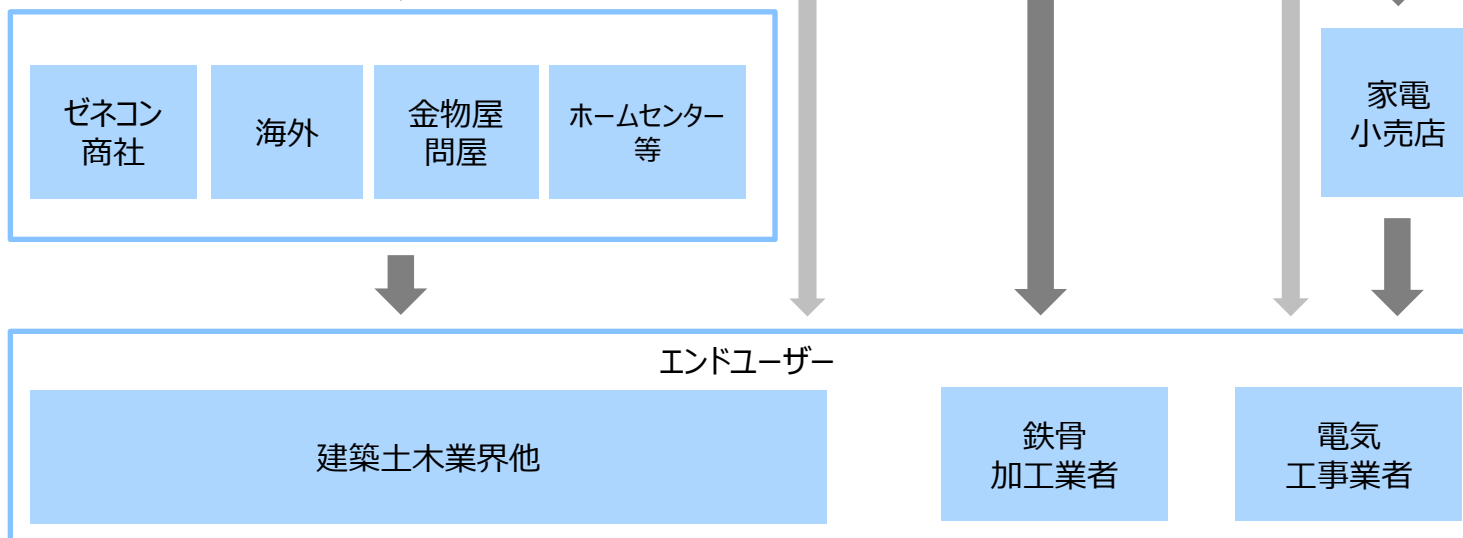
仕入先



セグメントおよび売上構成比（2018年3月期）

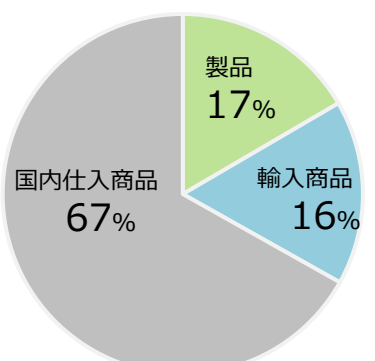
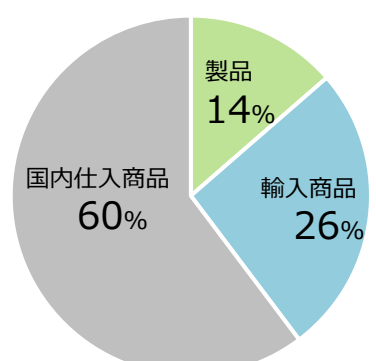
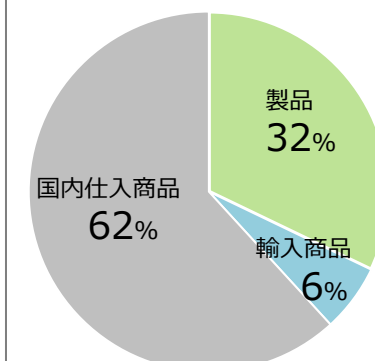
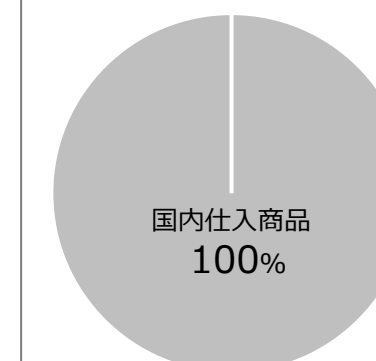


販売先



セグメント概要

(2018年3月末時点)

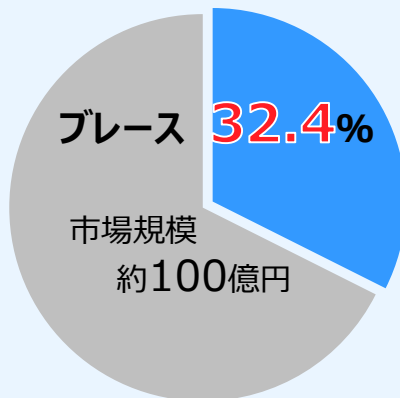
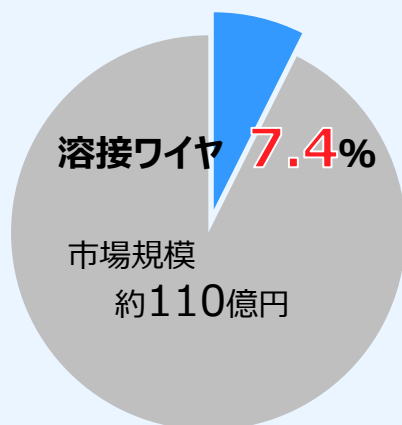
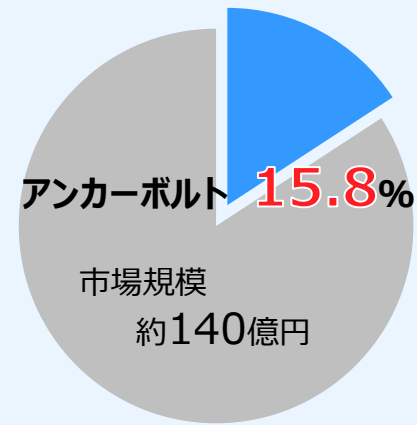
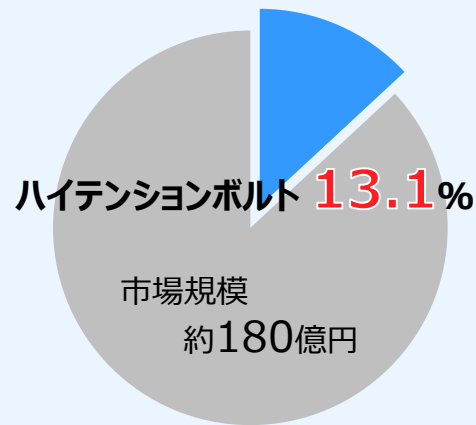
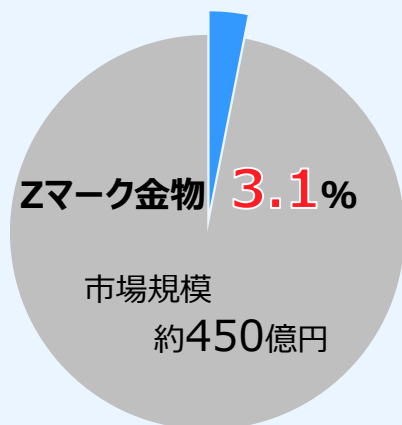
売上高	連結	産業資材	鉄構資材	電設資材	
	52,811百万円	30,262百万円	14,410百万円	8,138百万円	
					
	※ 円グラフには、タイ現地法人・中央技研(株)は含めておりません。				
営業拠点数	61拠点	30拠点	16拠点	15拠点	
アイテム数	約50,000点	約40,000点		約10,000点	
従業員数	789人	237人	100人	127人	
販売先数	約24,500社	約15,000社	約5,000社	約4,500社	
新規開拓	件数 (注)	2,822件	1,728件	693件	401件
	売上高 (注)	2,842百万円	1,289百万円	890百万円	662百万円

※ 売上高を除いた項目には、タイ現地法人・中央技研(株)は含めておりません。

(注) 当期および前期の合計。

主要商材の市場規模と当社シェア (2017年3月時点)

- 下記に掲載している商材の他にも、ワイヤロープ、ネット・シート類、鋸螺なども含め、シェアが比較的高い商材から、開拓の余地がある商材まで幅広く取り扱っております。



《 その他、シェアが高い商材 》

- 足場吊りチェーン **56.5%**
- ターンバックル **25.3%**
- シャックル **40.4%**

※ 当社調べ

2. 主要製・商品

取扱いアイテムは5万点。時代の変化・ニーズに合わせ、さまざまな業界に供給しています。



ターンバックルブレース 使用例

- 筋交いの「ターンバックルブレース」を取り付けることで、建物が横から押される力に突っ張って変形を防ぎ、建物の倒壊を回避する役割があります。
- ショッピングセンターや工場、倉庫などの鉄骨建築や鉄骨プレハブ住宅などの耐震用筋交いとして使用されています。また、身近な場所では駅のホームの屋根で使用されています。

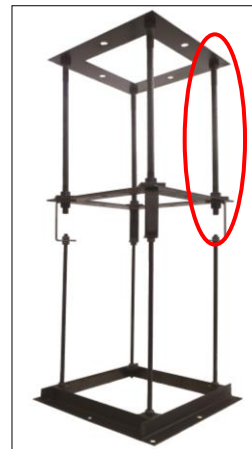


アンカーボルト 使用例

- アンカーボルトは土地に施工した基礎コンクリートと建物をつなぐための重要部材です。基礎コンクリートに取り付けられた建物が移動や転倒することを防ぐ役割を持っています。



施
工
後



アンカーボルト



アンカーフレーム (コンベース・エコ)

- コンテナバッグは、飼料、肥料、樹脂ペレット、産業廃棄物等の輸送・保管、がれき処理・除染作業や災害復旧作業での大型土のう袋など様々な場面で使用されています。



3. 2019年3月期第1四半期の実績と分析

2019年3月期第1四半期 連結業績

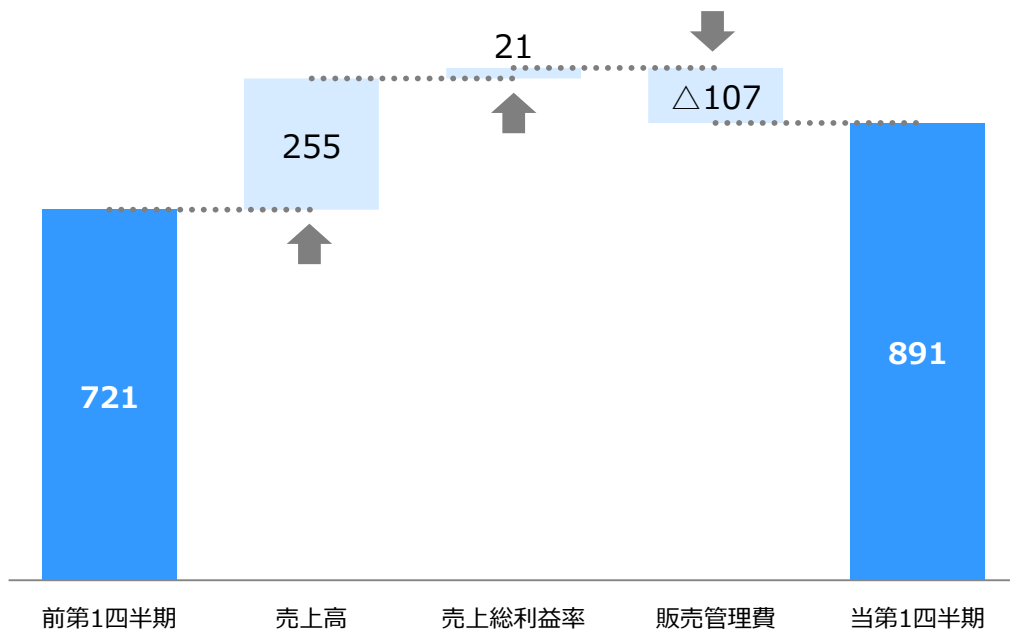
(単位：百万円)

	前第1四半期 (2018年3月期)	当第1四半期 (2019年3月期)	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	12,433	13,613	+1,180	+9.5%
売上総利益	2,691	2,968	+277	+10.3%
販売管理費	1,969	2,076	+107	+5.4%
営業利益	721	891	+169	+23.6%
経常利益	747	928	+180	+24.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	493	628	+135	+27.3%

営業利益 前年同期比増減分析（連結）

営業利益 増減分析

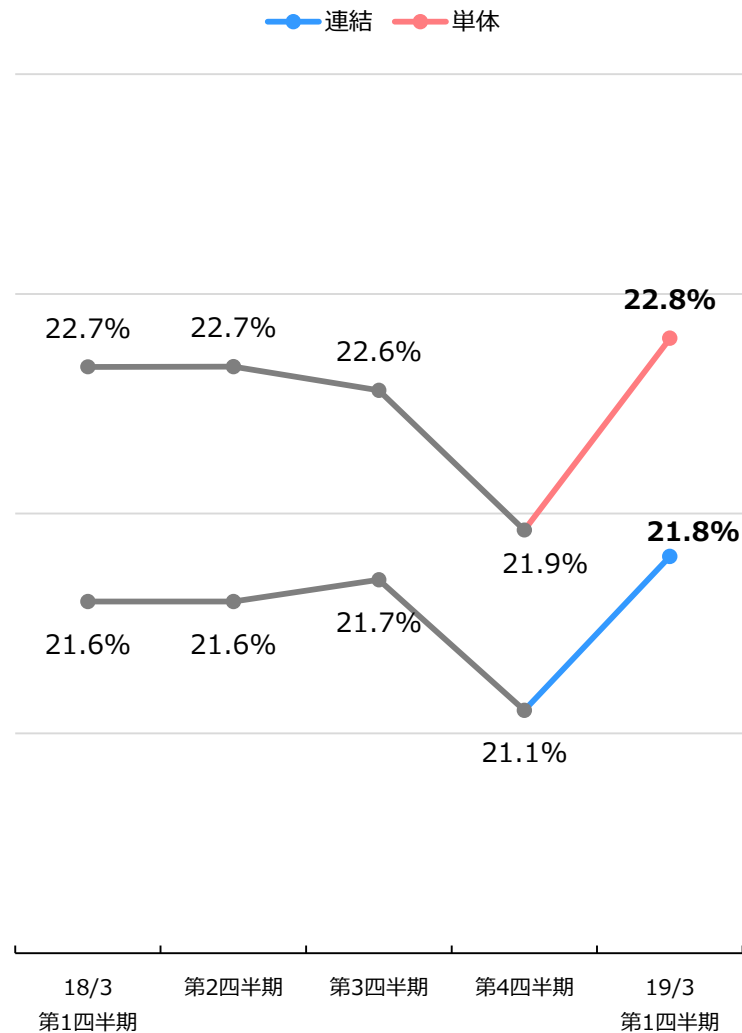
(単位：百万円)



売上総利益率 21.6%→21.8%

販売管理費 運賃荷造費 +51百万円、給与 +17百万円

売上総利益率の四半期別推移



2019年3月期第1四半期連結業績 計画進捗率

計画進捗率

(単位：百万円)

■ 当第1四半期 ■ 計画

売上高



売上総利益



営業利益



経常利益

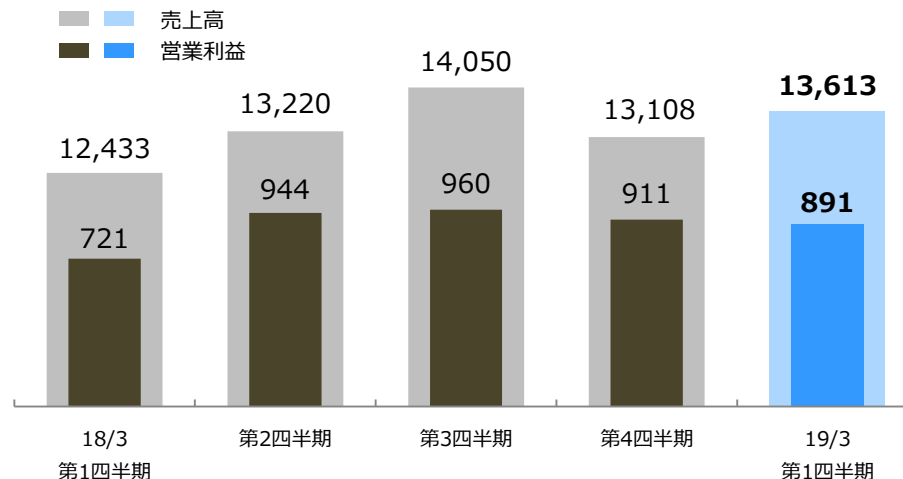


親会社株主に帰属する 四半期純利益

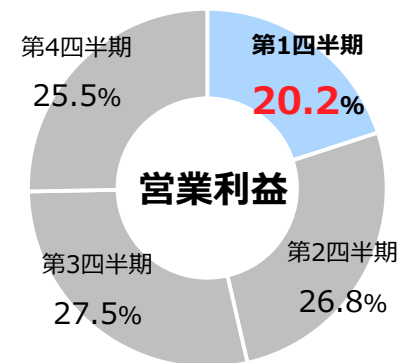
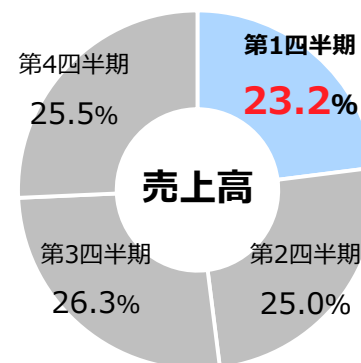


売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)



四半期別構成比 (過去5年平均)



連結貸借対照表

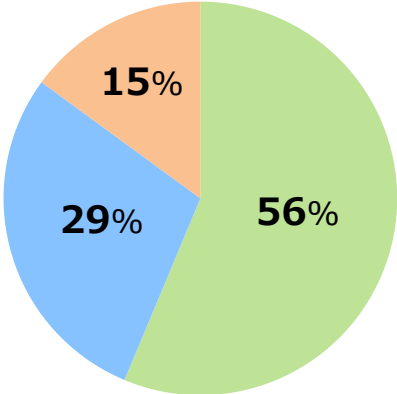
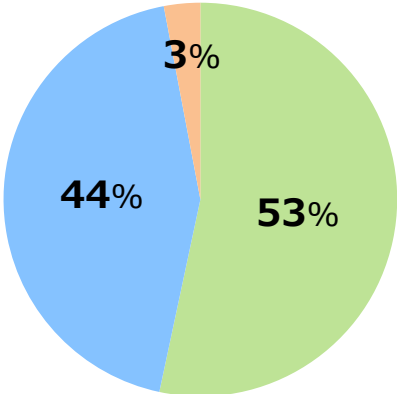
(単位：百万円)

	前期末	当第1四半期末	増減		
資産の部	流動資産	28,595	28,503	△92	<ul style="list-style-type: none"> 現金及び預金 △338百万円 受取手形及び売掛金 △283百万円 電子記録債権 +30百万円 棚卸資産 +479百万円
	固定資産	10,718	10,418	△299	
	資産合計	39,313	38,921	△391	
負債の部	流動負債	13,118	12,547	△570	
	固定負債	1,449	1,382	△66	
	負債合計	14,567	13,930	△637	
純資産の部	株主資本	25,941	26,251	+309	<p>親会社株主に帰属する四半期純利益により 628百万円増加、配当により323百万円減少</p>
	その他の包括利益 累計額	△1,248	△ 1,307	△59	
	純資産合計	24,745	24,991	+245	

4. 2019年3月期第1四半期の各セグメントの実績と分析

2019年3月期第1四半期セグメント別業績

(単位：百万円)

		前第1四半期	当第1四半期	増減率	構成比
					■ 産業資材 ■ 鉄構資材 ■ 電設資材
売上高	産業資材	7,228	7,664	+ 6.0%	
	鉄構資材	3,277	3,913	+ 19.4%	
	電設資材	1,927	2,035	+ 5.6%	
	調整	—	—	—	
	合計	12,433	13,613	+ 9.5%	
セグメント利益又は損失	産業資材	429	474	+ 10.6%	
	鉄構資材	287	388	+ 35.3%	
	電設資材	7	26	+ 268.2%	
	調整	△2	1	—	
	合計	721	891	+ 23.6%	

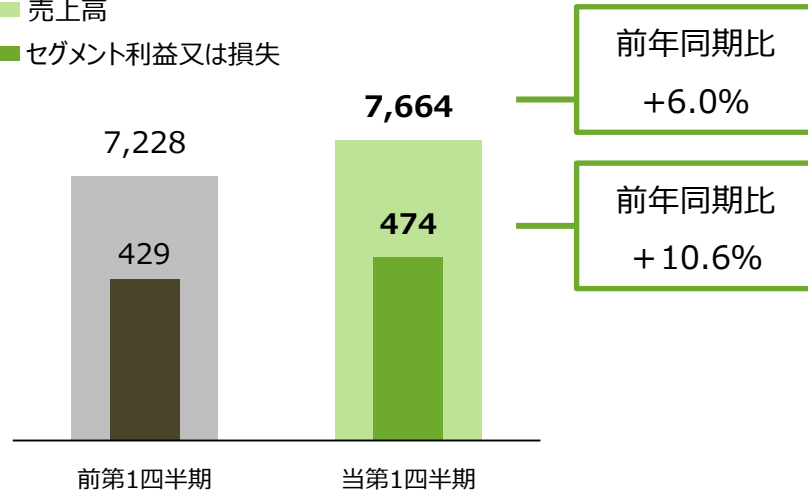
※ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

売上高・セグメント利益又は損失

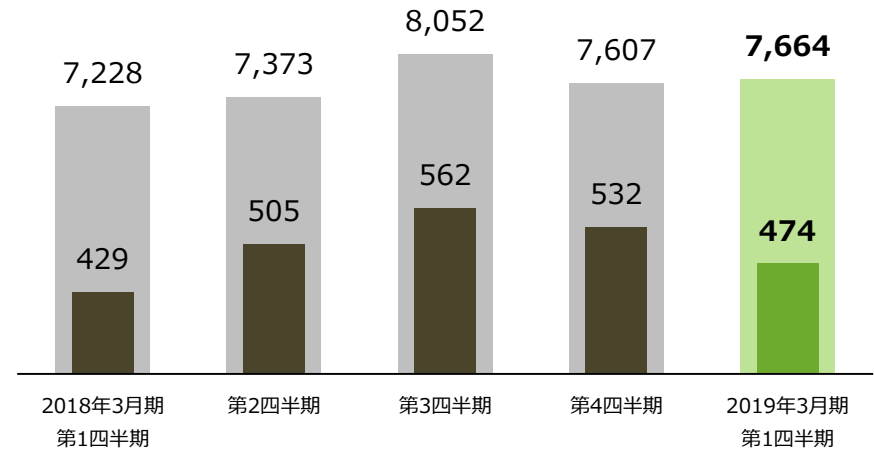
(単位：百万円)

■ 前年同期比較

- 売上高
- セグメント利益又は損失



■ 四半期別推移



売上高 増減要因

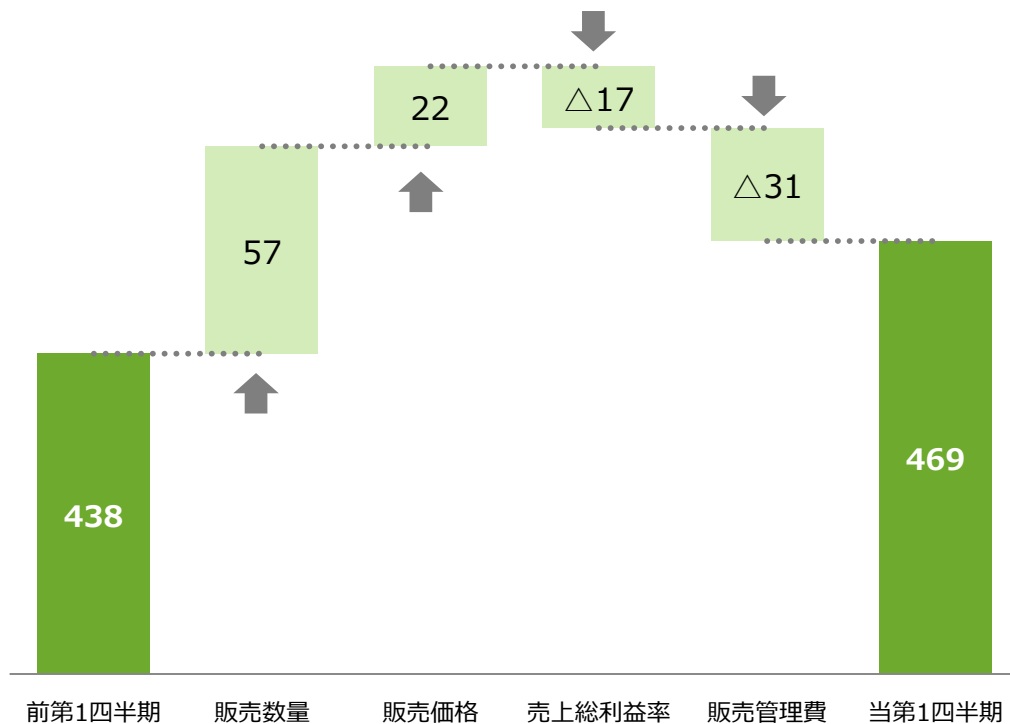
前年同期と比較して、約**440**百万円の増加。

国内建設市場は、民間・公共工事ともに底堅く推移し、建築・土木関連商材であるコンテナバッグ、仮設足場部材、現場用品などが堅調に推移した。

製品商品別売上高増減額			
製品	約 + 30百万円	ロープ付属品 / + 14百万円	需要の増加による受注増
商品	約 + 410百万円	コンテナバッグ / + 83百万円	福島県内の土壌汚染詰替用の耐候性コンテナバッグの引き合いが堅調だったことによる増加

セグメント利益又は損失 増減分析

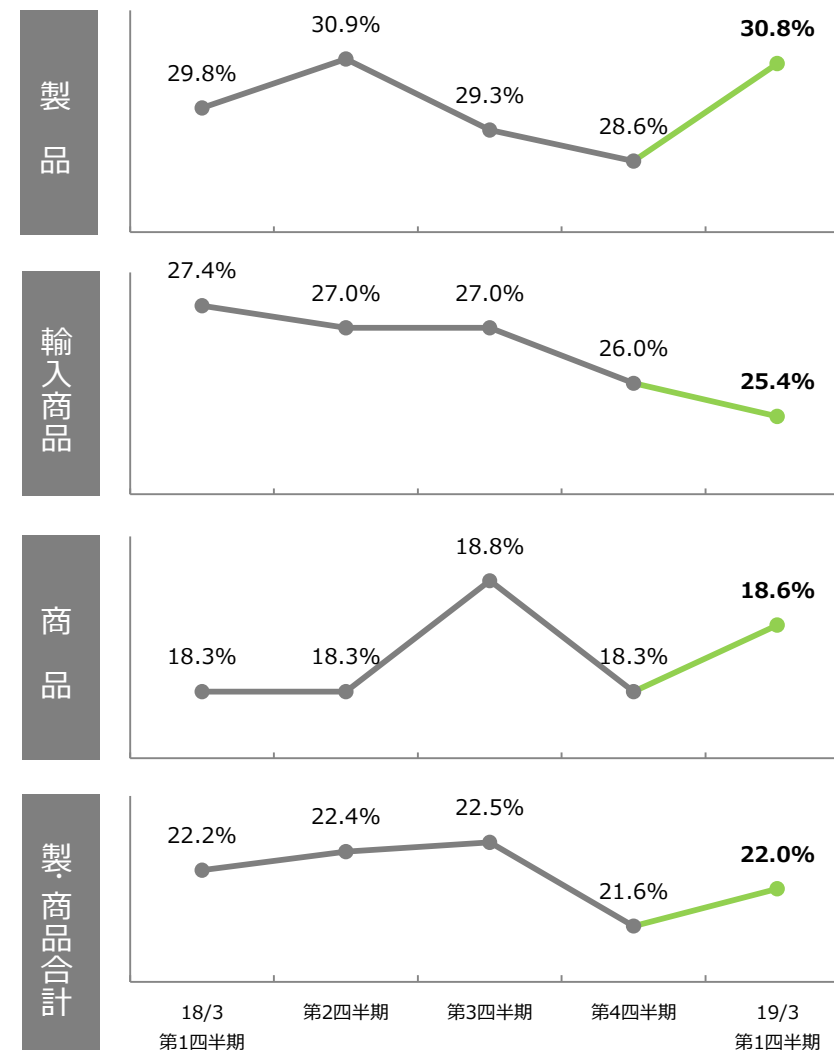
(単位：百万円)



販売数量	製品 △14百万円、商品 +72百万円
販売価格	製品 +14百万円、商品 +7百万円
売上総利益率	製品 29.8% → 30.8% 商品 21.0% → 20.6% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	運賃荷造費 +21百万円

※増減分析及び四半期別利益率推移には、タイ現地法人および中央技研(株)は加味されていません。

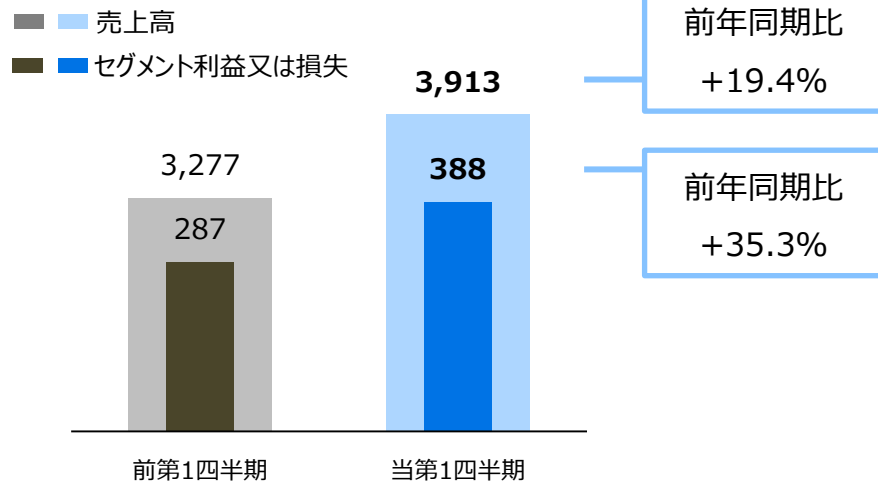
売上総利益率の四半期別推移



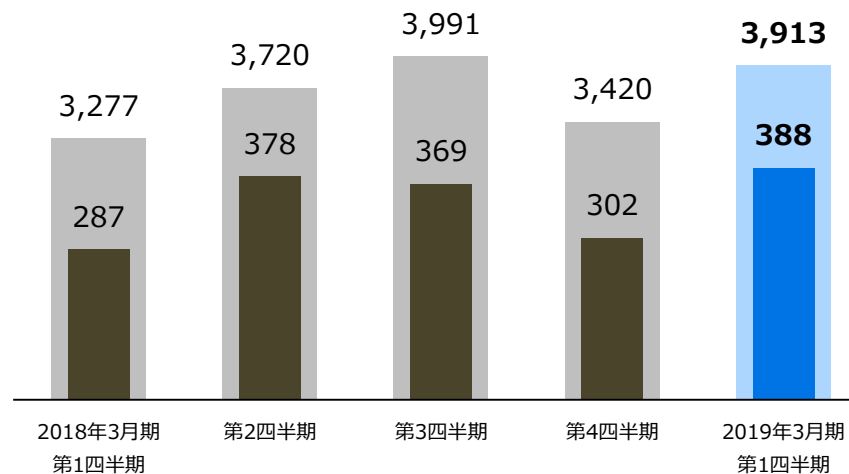
売上高・セグメント利益又は損失

(単位：百万円)

■ 前年同期比較



■ 四半期別推移



売上高 増減要因

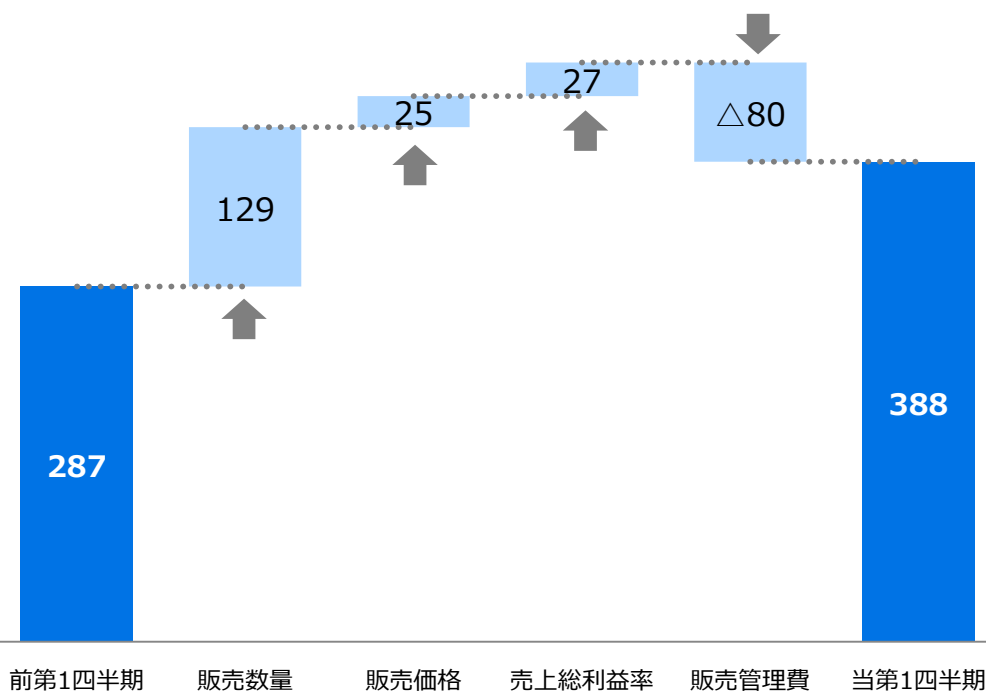
前年同期と比較して、約**640**百万円の増加。

インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の旺盛な需要を受け、主要商材である鉄骨部材、アンカーボルト、ブレースなどが堅調に推移した。

製品商品別売上高増減額			
製品	約+240百万円	ブレース / +128百万円	店舗、倉庫物件の増加
商品	約+400百万円	鉄骨部材 / +163百万円	アングルブレースや胴縁加工などの受注増加

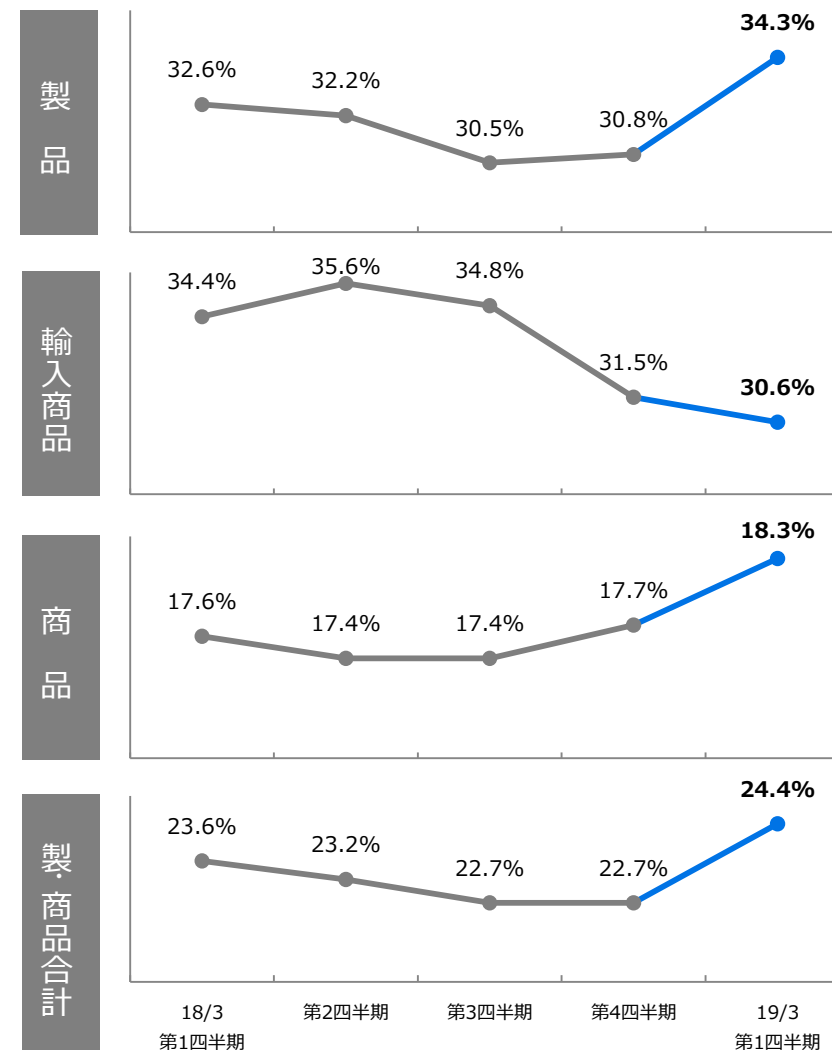
セグメント利益又は損失 増減分析

(単位：百万円)



販売数量	製品 +59百万円、商品 +69百万円
販売価格	製品 +18百万円、商品 +7百万円
売上総利益率	製品 32.6% → 34.3% 商品 19.4% → 19.6% (※輸入品・国内仕入商品合計)
販売管理費	運賃荷造費 +27百万円、給与 +9百万円、 雑給 +8百万円

売上総利益率の四半期別推移

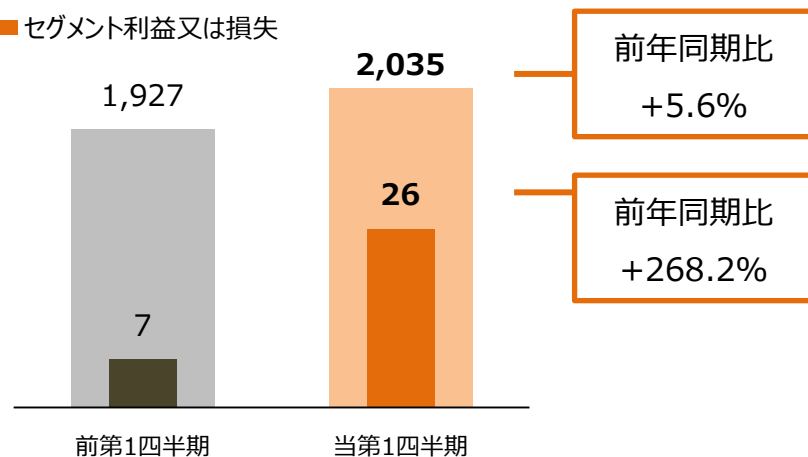


売上高・セグメント利益又は損失

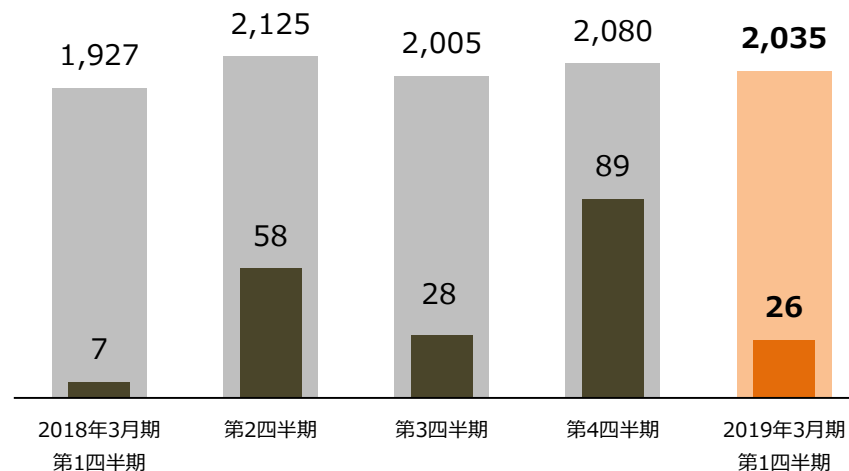
(単位：百万円)

■ 前年同期比較

■ 売上高
■ セグメント利益又は損失



■ 四半期別推移



■ 売上高 増減要因

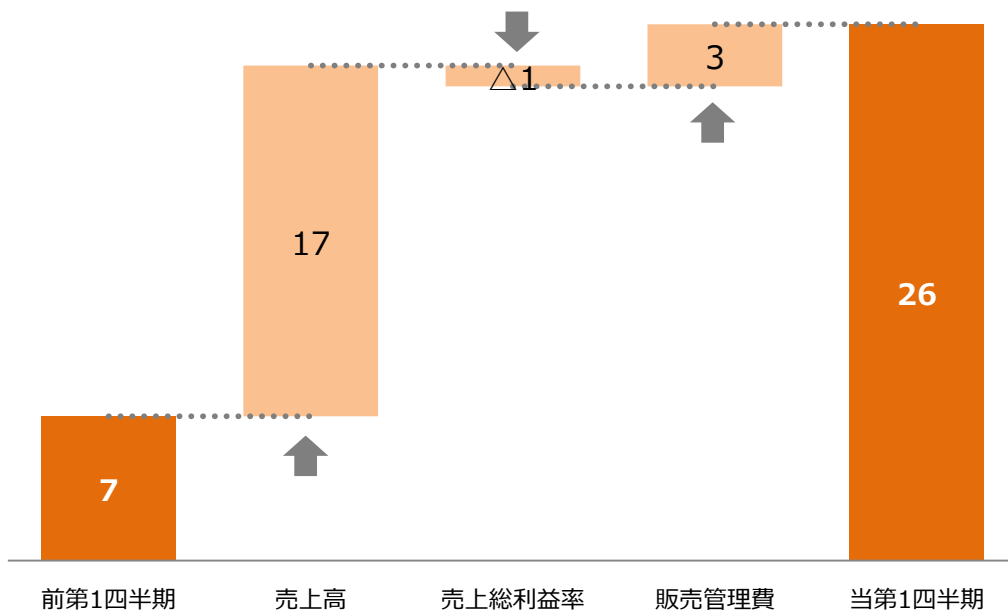
前年同期と比較して、約**110**百万円の増加。

売上高増減額

電線	+ 39百万円	工場等大口物件向け電線等の販売増加
空調・換気扇	+ 24百万円	エアコンの販売台数は減少するものの、販売価格の上昇により増加
弱電	+ 23百万円	マンション物件の弱電・自火報設備の増加

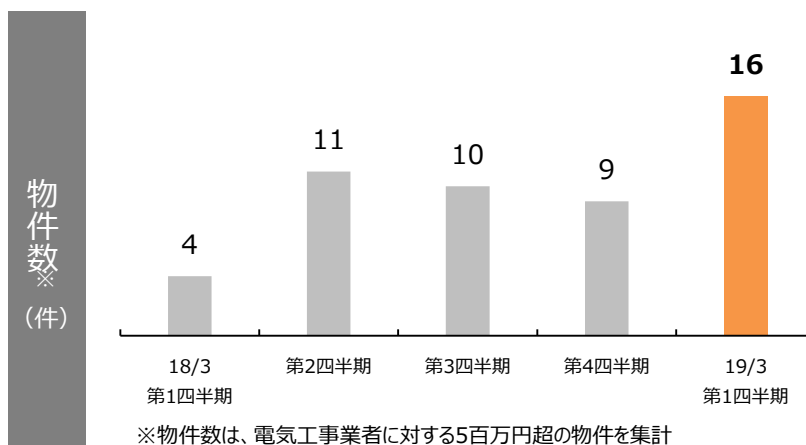
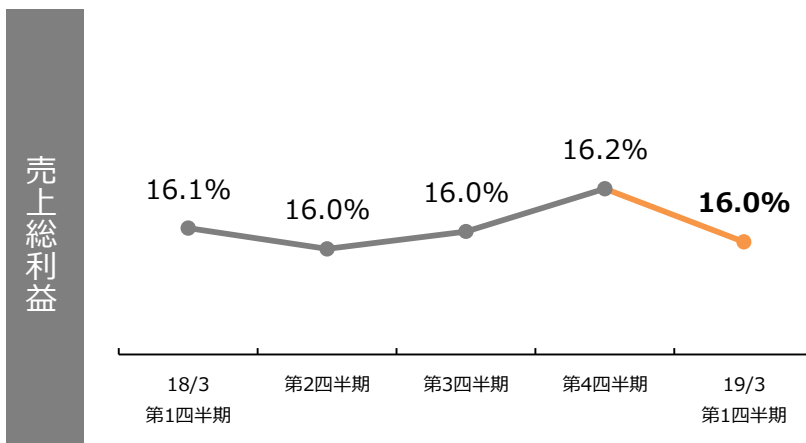
セグメント利益又は損失 増減分析

(単位：百万円)



売上総利益率	16.1%→16.0%
販売管理費	販売促進費 △3百万円

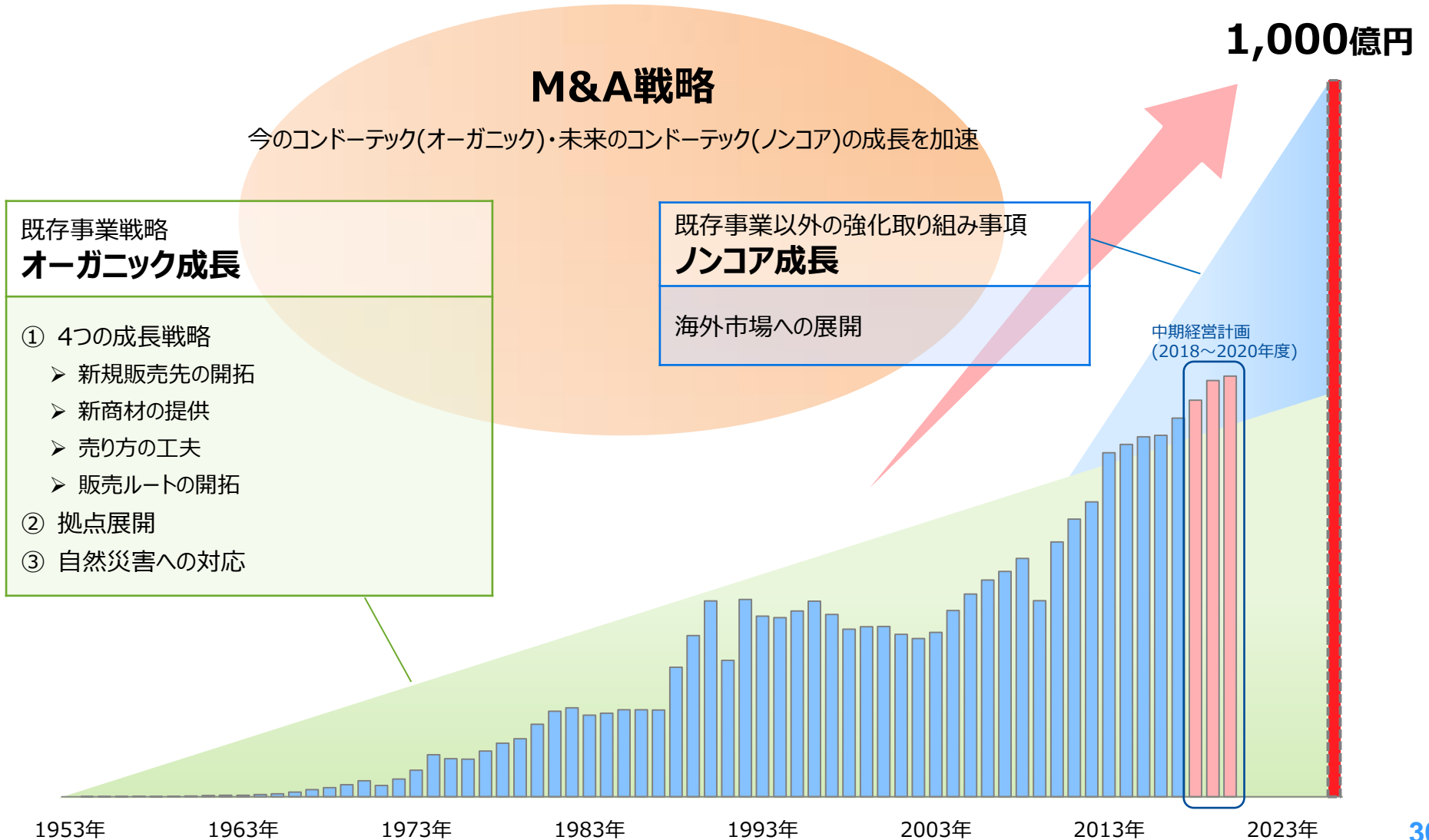
売上総利益率・物件数の四半期別推移



5. 成長戦略

売上高1,000億円を目指して

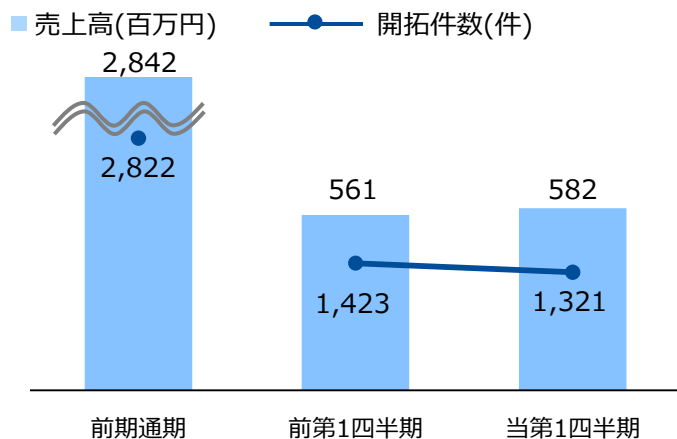
- 成長戦略を推進し、既存コア事業の一層の収益力強化と今後成長が見込まれる分野への進出を進め、2020年代中に**売上高1,000億円**を目指してまいります。



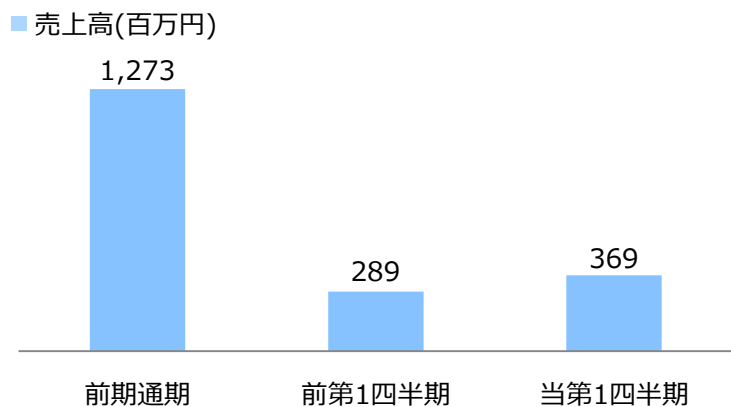
新規販売先の開拓

- 営業担当者 1 人当たり、月平均1社の新規販売先を開拓しております。
また、1人当たり年平均10社の休眠顧客の掘り起こしを実施しております。
- これらの活動が販売取引社数2万社超の源泉となっております。

新規販売先の開拓







休眠顧客の掘り起こし



新商材の提供

- 新商材開発のため、販売先からの要望や改善策について、定期的に営業部門と製造部門の合同の新商材委員会を開催し、より付加価値の高い商材を開発・開拓し、供給できるよう取り組んでまいります。

売上高 (百万円)		前第1四半期	当第1四半期
角フックボルト		28	19
コンベース・エコ		28	18
イエローポイントシリーズ		6	7
コンドー胴縁ボルト		4	19

売り方の工夫

■ サービスの差別化

➢ 吊り具アドバイザーの設置

社内認定資格として吊り具アドバイザーを設置し、吊り具の専門性を高め、サービスの差別化を図っております。

➢ カタログの工夫

取扱品総合カタログのほか、「吊り具」や「港湾用資材」「鳥獣害対策資材/農業用資材」など、特定の分野、お客様に特化したカタログも発行しております。

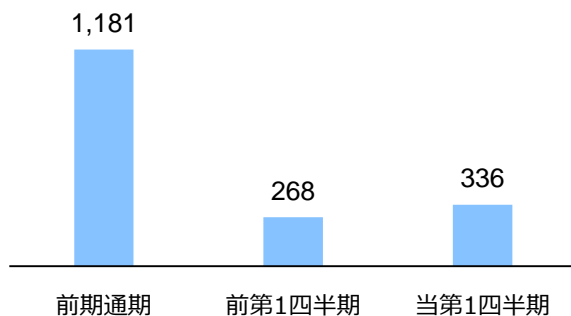


(左) 吊り具カタログ
(右) 鳥獣害対策・農業用資材
カタログ

■ アンカー施工の実施

アンカー施工を請け負い、建築の初期段階に入ること、そのあとに必要な建設資材の情報をいち早く掴み、営業に活かしております。

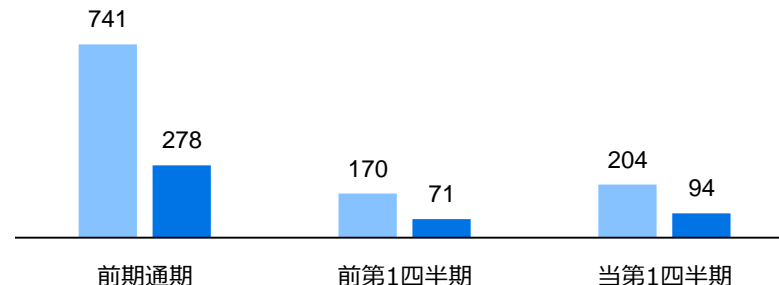
アンカー施工の売上高 (百万円)



販売ルートの開拓

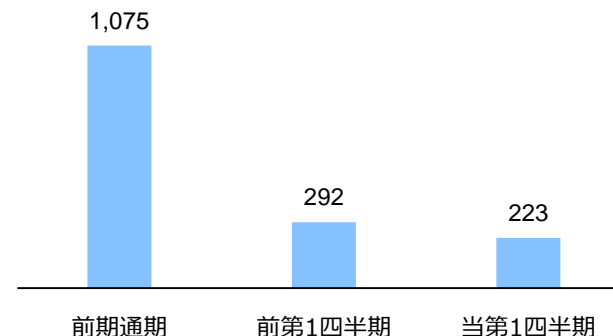
- 既存の販売ルートだけでなく、ホームセンターや鉄道会社など新業種への事業拡大を図っております。
- 2017年7月よりインターネットを通じた販売形態を模索するため、eコマースグループを新設しております。

売上高 (百万円) ■ ホームセンター ■ 鉄道会社



- 近年受注が増加している大手商社、ゼネコンの本部サイドからの集中購買、一括購入への対応として、首都圏営業の専任部隊を設置しております。

首都圏営業の売上高 (百万円)



- お客様のニーズに迅速に対応すべく、地域に密着した販売体制を整えられるような拠点展開を目指しております。直近では、2017年7月にeコマースグループ、2018年4月に岡山営業所を開設いたしました。今後ともクイックデリバリーで顧客重視の経営を実現してまいります。

全60販売拠点へ拡大 (2018年6月末時点)

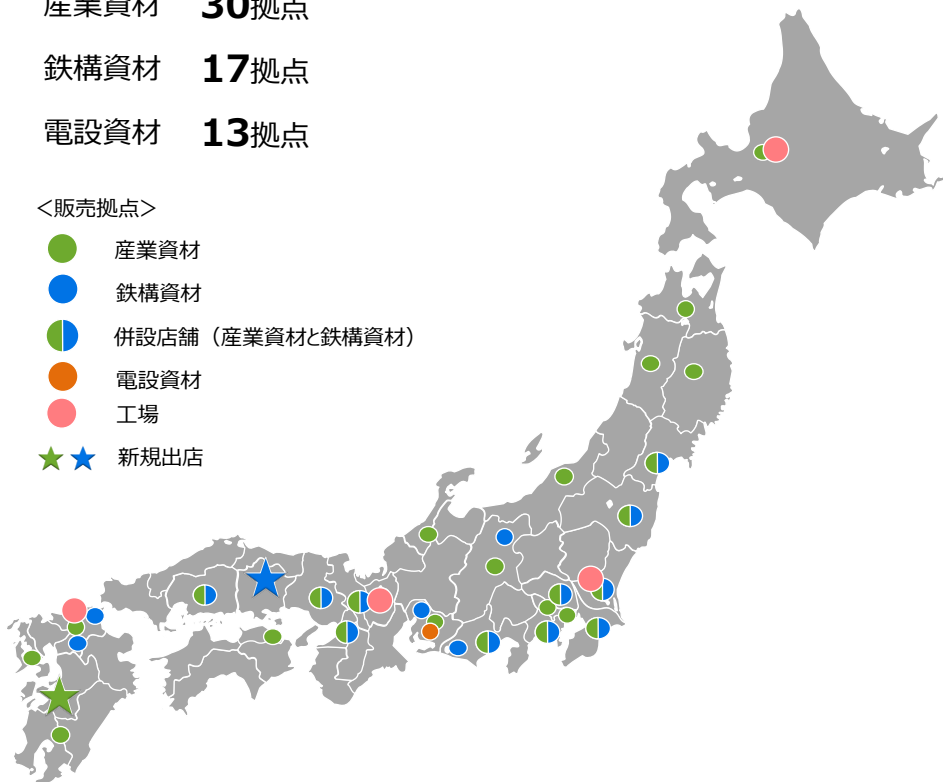
産業資材 **30**拠点

鉄構資材 **17**拠点

電設資材 **13**拠点

<販売拠点>

- 産業資材
- 鉄構資材
- 併設店舗 (産業資材と鉄構資材)
- 電設資材
- 工場
- ★ ★ 新規出店

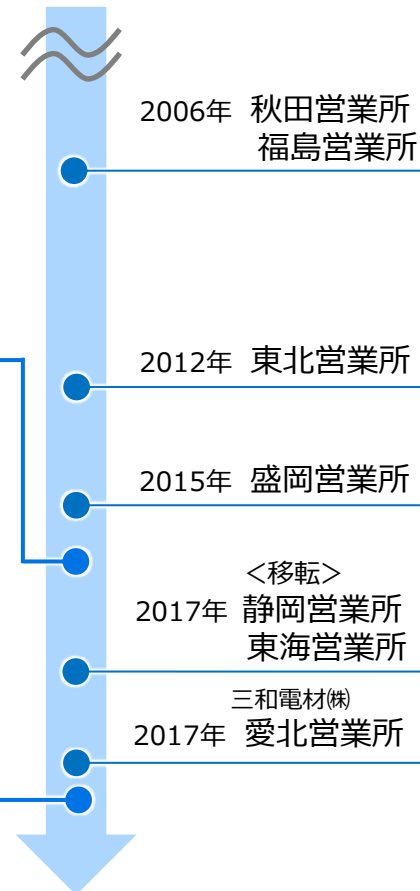


拠点展開の歩み

2016年4月 熊本営業所



2018年4月 岡山営業所

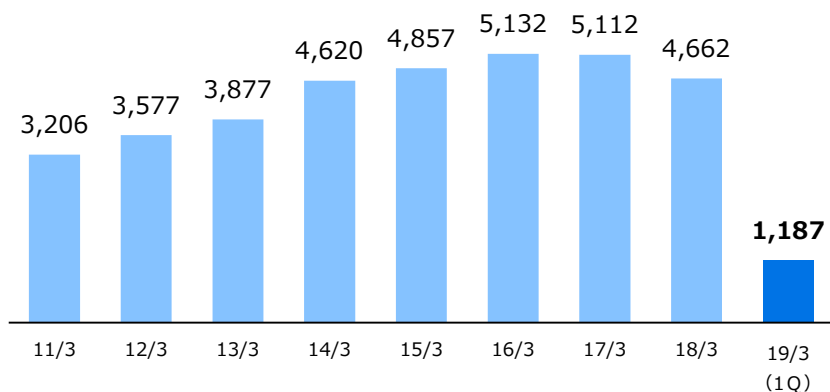


異常気象への対応

- 震災の復旧・復興や、各地で猛威をふるう大雨などの異常気象が発生した場合、緊急を要する資材の需要に即座に対応できる体制を整えています。

■ 異常気象関連資材の売上高

(単位：百万円)



上記のうち、震災復旧・復興関連の売上高(百万円)

東日本大震災					熊本地震	
12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
1,053	674	887	1,132	1,288	154	68

関連
商材

コンテナバッグ



ブルーシート・土のう袋類



ネット・シート類



新たなステージへの対応

- 「新たなステージ」へ対応するために、被害を最小限におさえるべく、事前の備えにも注力してまいります。

近年の異常な気象状況

時間雨量が50mmを上回る豪雨が全国的に増加し、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化している

災害をもたらした気象事例

平成24年7月九州北部豪雨	九州北部を中心に大雨
平成26年8月豪雨	西日本から東日本の広い範囲で大雨 (広島県にて土砂災害発生)
平成30年7月豪雨	西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨

- 明らかに雨の降り方が変化していること等を「**新たなステージ**」と捉え、危機感をもって防災・減災対策に取り組んでいく必要がある
- 「新たなステージ」に対応するためには、**インフラの被害をできる限り軽減**するとともに、**早期復旧できるような事前の備えを講じる必要がある**

(国土交通省 HPより)

Expansion into Overseas Markets

- Growth is expected in overseas markets. We consider that expanding our reach will strengthen our profitability. In November 2012, we established a local subsidiary in Thailand, and in August 2014, we increased our investment and acquired 100% ownership of two joint venture companies, making them our wholly owned subsidiaries.
- Currently, we are expanding our business areas in ASEAN countries, starting from Thailand as a base.
- In the future, we aim to further strengthen our sales force by increasing our personnel overseas and enhancing our sales channels, thereby increasing our overseas sales ratio.

Thai Local Subsidiary

商号	KONDOTEK INTERNATIONAL (THAILAND) CO.,LTD.
本社所在地	タイ・バンコク市内
事業内容	タイにおける産業資材、鉄構資材及び電設資材等の輸出入と現地国内販売
資本金	102百万バーツ（約316百万円）
設立年月日	2012年11月1日



Overseas Sales High 2019 Q3 Status

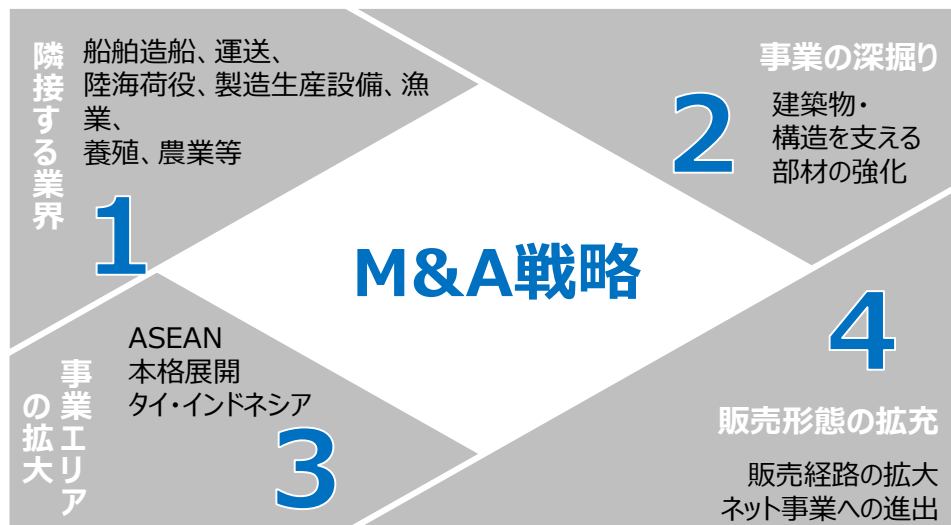
(単位：百万円)	前第1四半期	当第1四半期	計画
海外営業部	18	13	64
タイ現地法人	33	65	302
合計	51	78	366

※グループ間取引金額は含まれておりません。

Country-wise Overseas Sales Ratio

ASEAN	80%	タイ	38%
東アジア/中国	12%	インドネシア	20%
中近東	5%	シンガポール	9%
その他	3%	ベトナム	9%
		ミャンマー	4%

M&Aにおける4つの視点



1. 隣接する業界

建設業界以外の業界に関わる企業をM&Aし、事業の拡大を図る
実績：三和電材株式会社

2. 事業の深掘り

部材メーカー等をM&Aし、既存事業を深掘りする
実績：中央技研株式会社

3. 事業エリアの拡大

海外拠点保有企業をM&Aし、販売フィールドを拡大する

4. 販売形態の拡充

小売、カタログ販売、ネット販売といった既存事業とは異なる販売形態の企業をM&Aし、販売形態を拡充する

2018年2月 エヌパット株式会社と業務資本提携契約締結

エヌパット株式会社は、「あと施工アンカーボルト」や「インサート」を中心とした建築用金物の開発、製造、販売を行っており、「N-PAT」のブランド名で顧客ニーズに合わせた豊富な品揃えを展開し、活動を行っております。

本提携を通じて、両社が持つ販売網による付加価値の高い製品の拡販と、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

<会社概要>

商号	エヌパット株式会社
所在地	大阪市港区
事業内容	建築用金物の製造販売業
資本金	10百万円（2017年9月末時点）

<業務資本提携の内容>

業務提携	建築用金物の製造、販売における連携
資本提携	当社がエヌパット株式会社の発行済株式総数の5%を取得

6. 株主還元

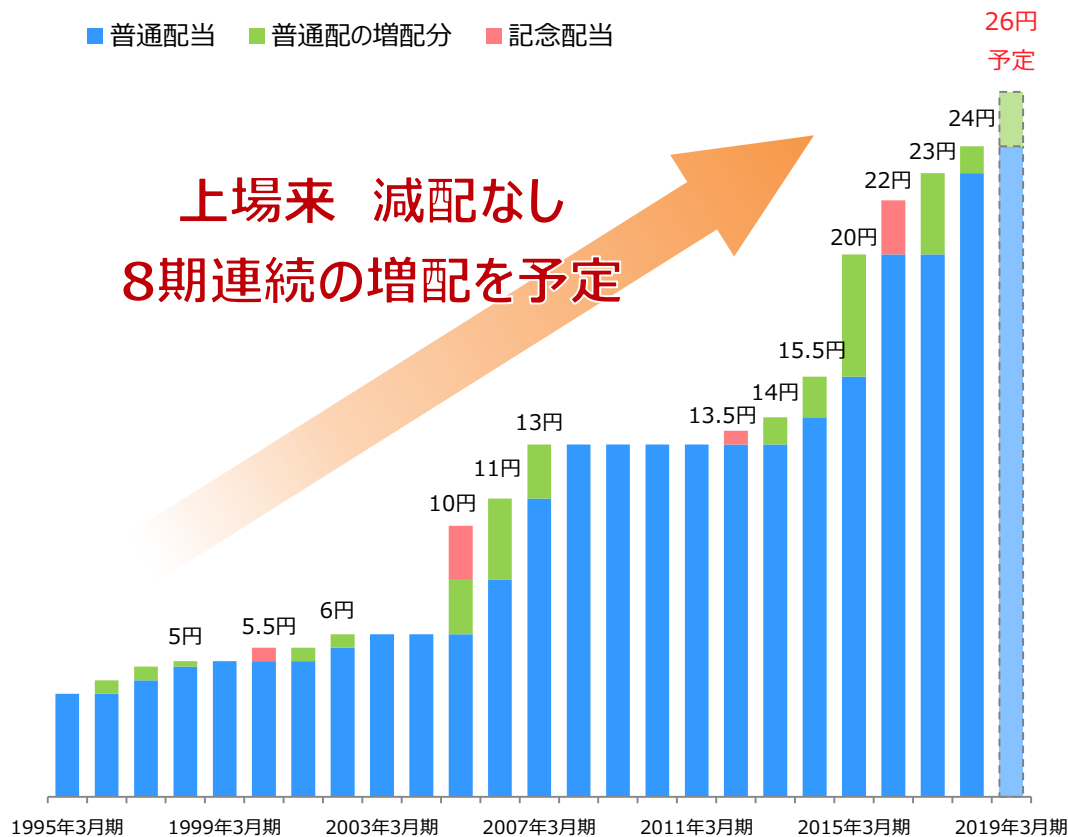
- ROE10%以上、DOE2.5%以上を目標とし、継続的・安定的な配当を実現してまいります。
- 保有株式数に応じて、お米券を年1回贈呈いたします。

※ DOE…純資産配当率。株主の皆様への利益配分を示す配当性向と、資本効率を示すROEの2つの要素から構成される指標。

配当の推移

■ 普通配当 ■ 普通配の増配分 ■ 記念配当

**上場来 減配なし
8期連続の増配を予定**



※2012年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり配当金は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

配当に関連する経営指標 (2018年3月期)

ROE	配当性向	DOE
10.7%	25.5%	2.7%
配当利回り※	優待込み 配当利回り※	
2.4%	~3.3%	

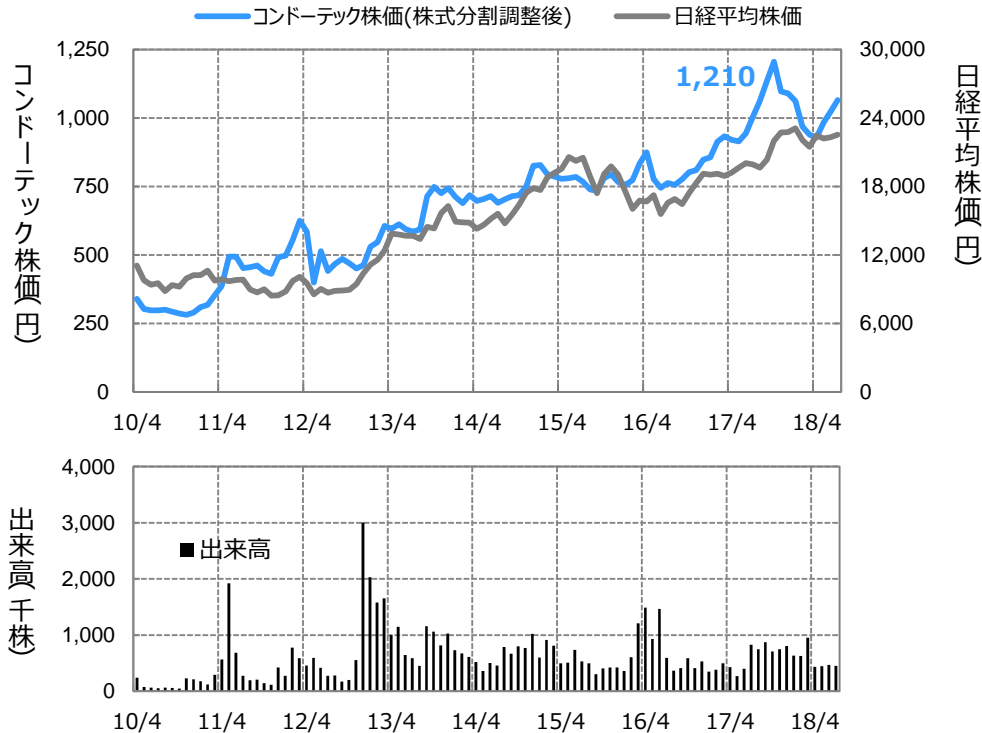
※株価は、7月30日終値1,065円

株主優待

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	お米券 2kg分 (880円相当)
1,000株以上 10,000株未満	お米券 5kg分 (2,200円相当)
10,000株以上	お米券 10kg分 (4,400円相当)

※おこめ券1kg分は440円相当となっております。

株価推移



※2012年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 これに伴い、株価、出来高は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の終値を表記しております。
 ※2012年12月に公募増資、第三者割当増資を行っております。

7月30日終値 **1,065円**
PER : 10.9 PBR : 1.15

EPS : 98.12円 (2019年3月期予想)
 BPS : 922.62円 (2018年3月末) で計算

当社の上場企業におけるランキング順位

2018年6月30日終値 **1,023円**、上場企業**3,731**社中…

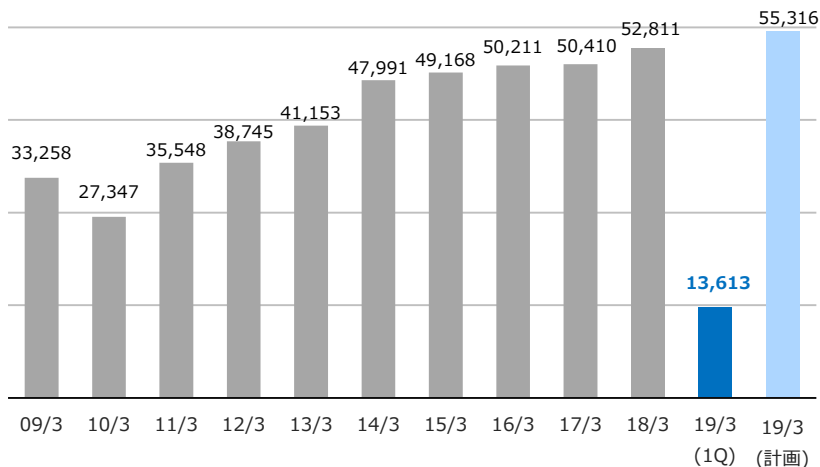
ROE	1,196位
当期純利益	1,254位
経常利益	1,287位
純資産額	1,500位
時価総額	1,628位
PBR	2,125位
PER	2,904位

※データはみずほ証券資料を参照。ランキングは2018年6月30日時点のもの。

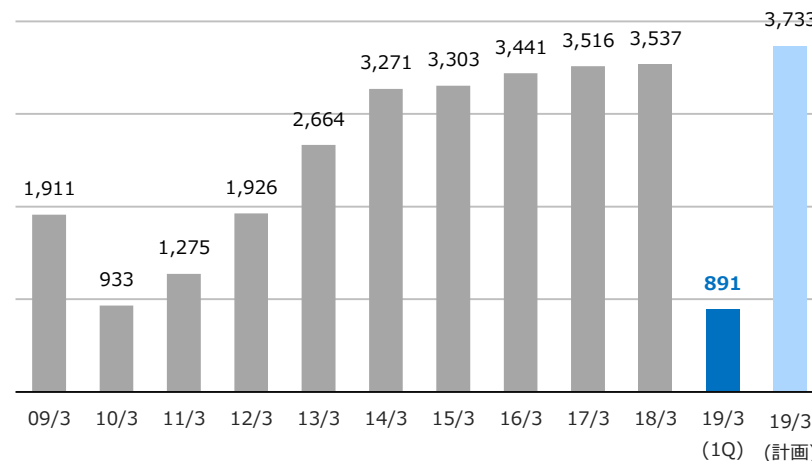
- 当社の時価総額は、27,884百万円。
 仮に当期純利益の順位が企業価値(時価総額)を表す物差しとすると、時価総額1,254位の時価総額は45,111百万円。
 その場合、当社の株価は1,655円となります。

7. 業績ハイライト

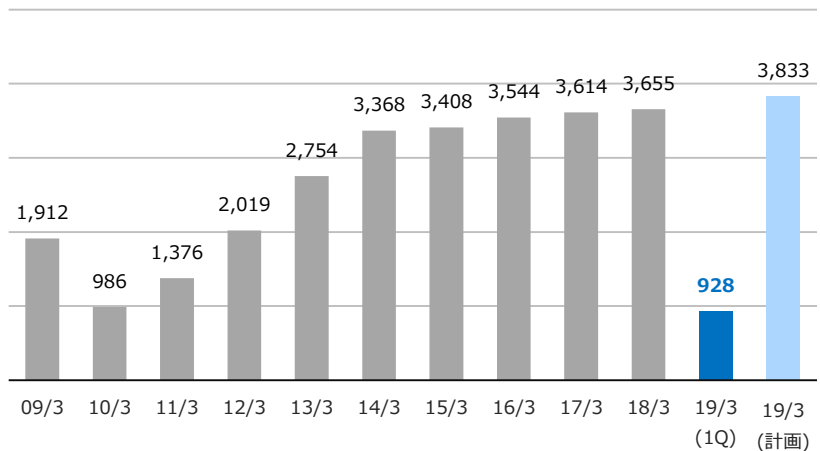
売上高 (百万円) **13,613** 百万円 計画進捗率 24.6%



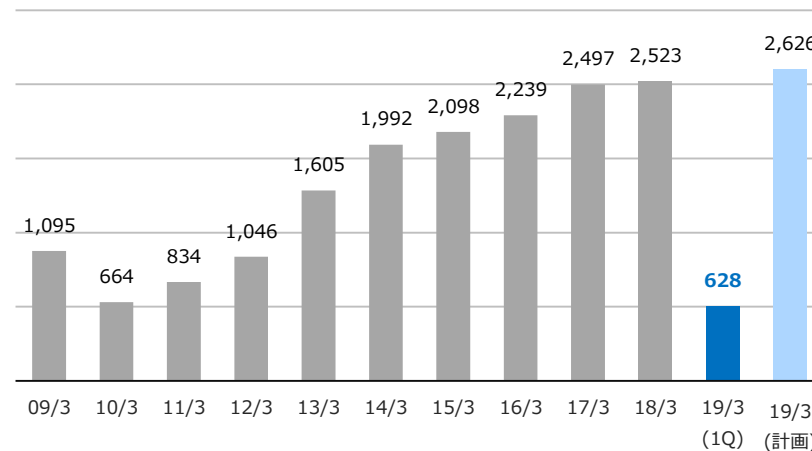
営業利益 (百万円) **891** 百万円 計画進捗率 23.9%



経常利益 (百万円) **928** 百万円 計画進捗率 24.2%

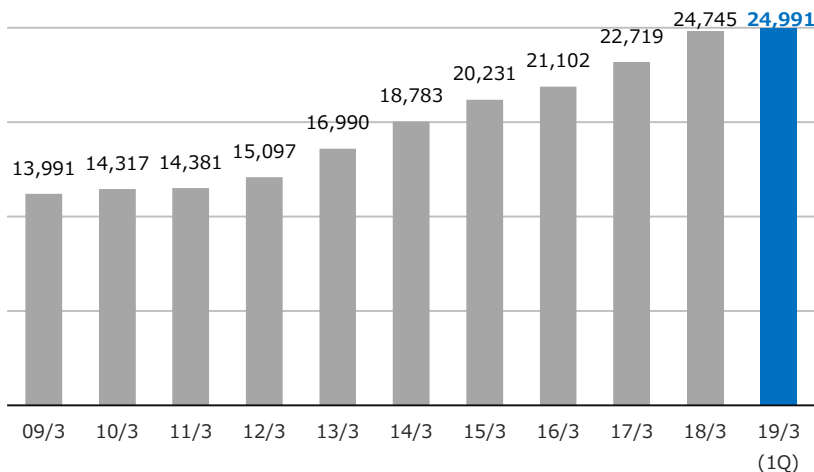


親会社株主に帰属する
当期純利益 (百万円) **628** 百万円 計画進捗率 23.9%



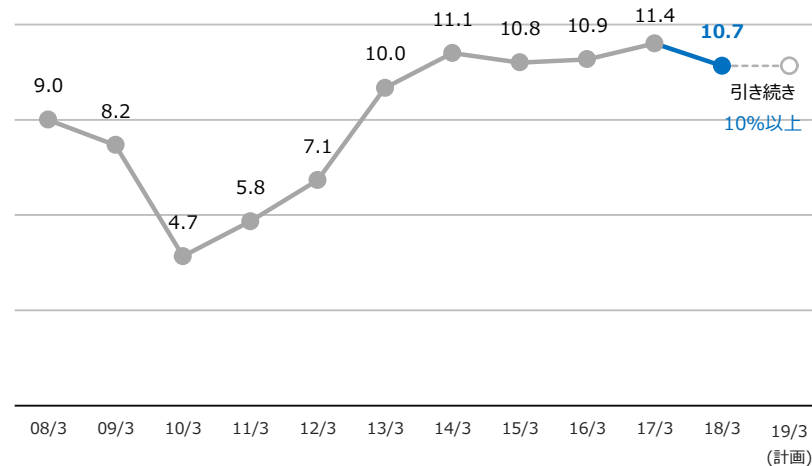
純資産 (百万円)

24,991 百万円



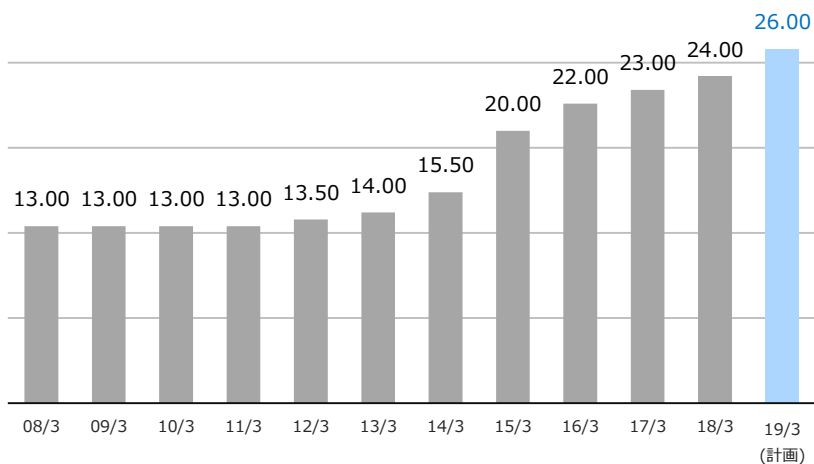
ROE (%)

目標 **10** %以上



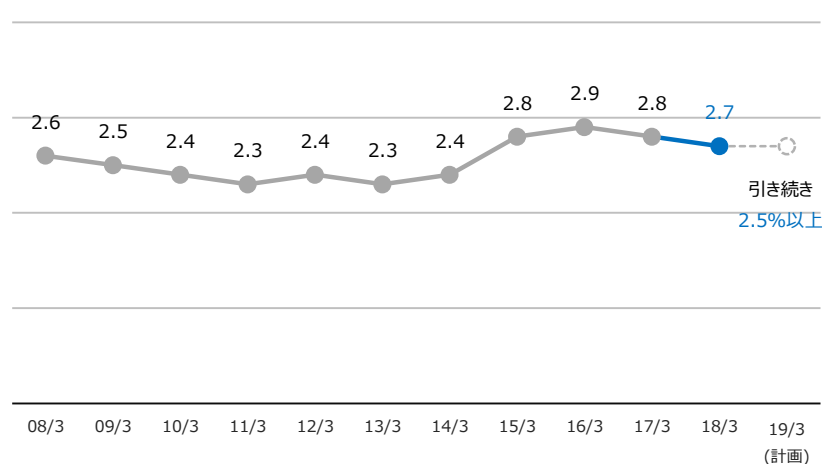
配当金 (円)

26.0 円を予定



DOE (%)

目標 **2.5** %以上



	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3 1Q	19/3 (計画)
経営成績 (百万円)												
売上高	33,258	27,347	35,548	38,745	41,153	47,991	49,168	50,211	50,410	52,811	13,613	55,316
営業利益	1,911	933	1,275	1,926	2,664	3,271	3,303	3,441	3,516	3,537	891	3,733
経常利益	1,912	986	1,376	2,019	2,754	3,368	3,408	3,544	3,614	3,655	928	3,833
親会社株主に帰属する当期純利益	1,095	664	834	1,046	1,605	1,992	2,098	2,239	2,497	2,523	628	2,626
設備投資額	132	632	240	180	566	679	403	842	695	423	-	-
減価償却費	430	380	457	428	390	418	449	405	438	423	-	-
財政状態 (百万円)												
総資産	24,667	23,616	26,194	28,403	31,192	34,481	35,186	34,645	36,524	39,313	38,921	-
純資産	13,991	14,317	14,381	15,097	16,990	18,783	20,231	21,102	22,719	24,745	24,991	-
有利子負債	-	-	900	705	808	806	636	508	501	500	-	-
キャッシュ・フロー (百万円)												
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,196	1,109	1,219	1,454	2,077	1,887	1,818	1,945	2,737	2,429	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 391	△ 1,437	△ 320	△ 1,511	△ 494	△ 660	828	△ 829	△ 646	△ 506	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 115	△ 336	△ 736	△ 550	426	△ 389	△ 699	△ 1,092	△ 1,032	△ 703	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,898	3,234	3,396	2,790	4,798	5,636	7,626	7,594	8,660	9,893	9,554	-
1株当たり情報 (円) *												
1株当たり当期純利益	42.88	25.62	32.19	40.36	60.77	72.13	75.91	81.01	93.29	94.25	23.50	98.14
1株当たり純資産	539.73	552.30	554.79	582.41	615.12	679.27	730.49	774.18	846.59	922.62	-	-
1株当たり配当額	13.00	13.00	13.00	13.50	14.00	15.50	20.00	22.00	23.00	24.00	-	26.00
財務指標												
売上高営業利益率 (%)	5.7	3.4	3.6	5.0	6.5	6.8	6.7	6.9	7.0	6.7	6.5	6.9
ROE (%)	8.2	4.7	5.8	7.1	10.0	11.1	10.8	10.9	11.4	10.7	-	10%以上
自己資本比率 (%)	56.7	60.6	54.9	53.2	54.5	54.4	57.4	60.8	62.1	62.8	64.1	-
DOE (%)	2.5	2.4	2.3	2.4	2.3	2.4	2.8	2.9	2.8	2.7	-	2.5%以上
株価指標												
期末株価終値 (円)	285	308	353	625	606	718	786	834	933	939	1,023	-
株価収益率 (倍)	6.6	12.0	11.0	15.5	10.0	10.0	10.4	10.3	10.0	10.0	-	-

* 2012年1月1日付の株式分割 (1株を2株に分割) については、2009年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し表示しております。







 **コンドールテック株式会社**
KONDOTEC

〒550-0024

大阪市西区境川二丁目2番90号

TEL : 06(6582)8441(代表) FAX : 06(6582)8410

ホームページ : <http://www.kondotec.co.jp>

E-mail : kikaku@kondotec.co.jp (総務部)